

導入

I. マタイ7:13-14における二つの道

狭い門から入りなさい。広い門は滅びに通じます

1. 広い道とは

2. 狭い道とは

II. 狭い道の特徴

A. 品性の変化を必要とする

B. より高い行動基準を要求する

C. 神への完全な信頼を求める

III. 対照的な広い道

広い道は犠牲も変化も必要としません

攻撃に対する広い道の反応：仕返しと自己防衛

IV. 狭い道と敵

迫害に対するクリスチャンの反応は独特で難しいものです

苦しみの中で喜ぶ（マタイ5:11-12） _____

攻撃を赦す（マタイ6:12） _____

迫害する者を愛し、祈る（マタイ5:44） _____

復讐を求めない（ローマ12:19-20） _____

V. なぜ狭い道はそれほど狭いのか

神は正しい裁判官です。復讐は神のものです（ナホム1:2；ローマ12:19） _____

狭い道に従うなら、神は私たちと敵のうちに働くことができます _____

仕返しは霊的成長を妨げ、争いを激化させます _____

VI. 神の正義と時を信頼する

神の時は完全です。神は時が来れば報いてくださいます _____

VII. 狭い道の要求と励まし

イエスは門です。バプテスマによって狭い道の旅が始まります _____

イエスは道の一步一步で私たちと共にいると約束してくださいます _____